

令和2年度 中区地域力向上事業 事後評価

■助成事業

事業名 実施者	目的	事業内容	総事業費 [補助額] (円)	採用 回数	中区 らしさ A(高い) B(普通) C(低い)	事業目的 の達成度 A(高い) B(普通) C(低い)	財政支援 の必要性 A(高い) B(普通) C(低い)	費用対 効果 A(高い) B(普通) C(低い)	評価
1 スマイルスポーツクラブ スマイルスポーツクラブ	子どもたちの放課後の居場所づくりとスポーツを通しての人間形成を大学生が橋渡しを行う。平日の放課後を活用した通年型の事業である。夏と冬には、伊豆や長野方面に合宿を実施し、より良好な人間関係を構築する。子どもに伝承遊び（コマやけん玉）、いろんなスポーツ（プレス浜松のバレー、ヤマハのタグラグビー）を子どもに提供して、子どもの多様な可能性を引き出したい。雪のない浜松の子どもに雪遊びやスキーを経験させ、アウトドアで遊ぶ力を育てていく。	【期間】R2. 4. 22～R3. 3. 24 ※毎週水曜日（開催） ※コロナにより中止した時期もあり、合計30回実施 【場所】浜松学院大学体育館 【参加人数】 ・団体スタッフ14人、参加者1,149人 ※参加者は延べ人数 【内容】 ・小学1～6年生を対象に運動遊びやボールを使用した軽スポーツの実施 ・身近なものを使用した伝承遊びのイベント ・県内（掛川市）で登山やナイトワークラリーなどのミニ合宿の開催※補助金対象外	161,638 [71,000]	1	B	A	B	A	・新型コロナウイルス感染症拡大で活動が制限され中止した時期もあったが、感染症対策を講じながら年間を通じて活動し、子供たちの放課後の居場所づくりに貢献した。 ・参加した子供の保護者からも「コロナで巣ごもり生活を強いられていたのに週1回でも思い切り体を動かす場があって本当に助かった」等の声もあり、次年度への参加についても継続したい子供が多かった。 ・講師を市外から招聘していたが、中区らしい事業とするためには、地域の人材を活用し、地域に根差した活動にしていく必要がある。
2 ストリート陸上@まちなか ストリート陸上@まちなか実行委員会	「まちなか×スポーツ」を提唱。中区民のスポーツ振興の機運を醸成する。スポーツイベントを活用して中心市街地活性化を図る。	【期間】R2. 11. 3 【場所】浜松市ギャラリーモール ソラモ 【参加人数】 ・団体スタッフ30人、参加者150人 【内容】 ・五輪短距離選手や地元アスリートによるかけっこ教室、トークショー、デモンストレーション ・30mタイム計測 ・スローエアロビック実演 ・スタッフ30人、参加者150人	1,777,127 [683,000]	2	A	A	B	B	・来場者に対しての新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、トップアスリートによるかけっこ教室やパフォーマンス披露などが行われ、まちなかでのスポーツ振興に貢献した。 ・コロナの影響で中心市街地でのイベント中止が相次ぐ中、安全にイベントを実施できる体制を構築し、感染者を出すことなく実施することができたことについて中心市街地の関係者等から称賛の声もあり、協賛を申し出る企業もあった。 ・陸上競技の業界では「浜松でストリート陸上を開催している」との話が広がっており、幅広い機関と連携する土台が構築され、今後も事業の広がりが期待できる。 ・コロナの影響もあるが、補助金申請時よりも企業協賛やクラウドファンディングの決算額が大幅に減額しているため、事業を継続していく上では資金をどのように確保していくかが課題となる。
3 遠州市場 一般社団法人浜松商店界連盟	まちなかの「にぎわい」を取り戻すため、関係各所との連携を密にして、多くの人に遠州の良さを再発見してもらう。定期的に行うことで認知度を上げ、集客につなげる。	【期間】R2. 4. 11～R3. 3. 13 ※5・8月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ※10月は台風接近のため中止 【場所】The GATE HAMAMATSU南側 イベント広場 【参加人数】 ・団体スタッフ150人、参加者4,300人（延べ人数） 【内容】 ・毎月第2土曜日に開催 ・遠州地域の農産物の直売品や加工品などを販売 ・音楽家による演奏など	412,634 [97,000]	3	A	A	B	B	・高架下という人通りの少ないスペースでありながら、出店者数も来場者数も増加傾向にあり、中心市街地活性化に貢献した。 ・毎月第2土曜日に継続実施することで、固定の出店者や来場者、新規出店の問い合わせが増えるなど、事業の認知度が上がっている。出店者から企画案が出るなどチャレンジの場にもなっている。 ・令和3年度から開催場所が使用できなくなるが、中心市街地の活性化に貢献し認知度も上がり地域に定着していることから、新たな開催場所を検討し事業が継続されることを期待する。

以下の項目に照らして評価を実施する。

- 1) 中区らしさ
事業の実施にあたり、各区固有の人材、資源などを活かしたか。より発展、強化させることに繋がったか。
- 2) 事業目的の達成度
提案時点で掲げた目的をどの程度達成したか。
- 3) 財政支援の必要性
市が補助金を支出して支援を行う必要性（財政面で市の支援を必要とする事業であるかどうか）
- 4) 費用対効果
事業実施により得られた効果と、かかる経費のバランスは適切か。